

1. 消化管ホルモンはどれか。

- (1) leptin
- (2) secretin
- (3) incretin
- (4) prolactin
- (5) adiponectin

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

2. PIVKA-II 高値となり得る疾患・病態を選べ。

- (1) 肝細胞癌
- (2) Lewis 抗原陰性
- (3) ビタミン K 製剤内服中
- (4) ビタミン B12 欠乏
- (5) ワーファリン内服中

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

3. がま腫について正しいのはどれか。

- (1) 唾液の軟組織内貯留により生じる
- (2) 顎下腺に発生することが多い
- (3) 唾液腺腫瘍である
- (4) 開窓療法は無効である
- (5) 口腔底部の片側に生じることが多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

4. 咬合不正（咬み合せの異常）を生じる骨折はどれか

- (1) 下顎骨筋突起骨折
- (2) 頬骨弓骨折
- (3) Le Fort I 型骨折
- (4) 下顎骨体部骨折
- (5) 下顎骨関節突起骨折

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

5. 口腔癌について正しいのはどれか。

- (1) 遠隔転移部位では肺が多い
- (2) 放射線治療は有効ではない
- (3) 部位別では口唇に多い
- (4) 発現年齢では若年者に多い
- (5) 組織型では扁平上皮癌が多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

6. 歯性上顎洞炎について正しいのはどれか。

- (a) 顎骨の破壊が著明である
- (b) 切歯が原因歯となることが多い
- (c) う歯や歯周炎が原因で生じる
- (d) 左右同時に発症することが多い
- (e) 上顎洞の X 線透過性が亢進する

7. 顎運動に関与しない筋はどれか

- (a) 咬筋
- (b) 側頭筋
- (c) 顎二腹筋
- (d) 頬筋
- (e) 顎舌骨筋

8. 大唾液腺に発生する唾石症について正しいのはどれか。

- (a) 唾液腺造影で導管の断絶と狭窄がみられる
- (b) 摂食時の唾液流出障害により唾疔痛を生じることがある
- (c) 唾石は舌下腺に多くみられる
- (d) 唾石の主成分は硝酸石灰である
- (e) 腺体内唾石は自然排出されやすい

9. 50 歳男性。左側顎下部に鶏卵大の無痛性、弾性硬、可動性の腫瘍を触知した。唾液腺造影 CT 検査にて、顎下腺の半月状欠損像と後方圧排像が認められた。最も疑われる疾患はどれか。

- (a) 唾石症
- (b) 顎下型がま腫
- (c) リンパ管腫
- (d) 多形腺腫
- (e) シェーグレン症候群

10. 唇顎口蓋裂について正しいのはどれか。

- (a) 唇裂は正中が最も多い
- (b) 唇裂の閉鎖は生後すぐ行う
- (c) 顎口蓋裂の閉鎖は生後すぐに行う
- (d) 不正咬合を伴うことは少ない
- (e) 哺乳指導が必要である

11. 唾液腺癌のうち、低悪性な病理組織型はどれか。

- (1) 多型腺腫由来癌
- (2) 腺房細胞癌
- (3) 上皮一筋上皮癌
- (4) 唾液腺導管癌

(5) 未分化癌

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

12. 嚥下機能障害について、正しい組み合わせはどれか。

- (1) パーキンソン病 — 口腔期・咽頭期・食道期
(2) 筋萎縮性側索硬化症 — 食道期
(3) 延髄外側症候群 — 食道期
(4) 喉頭癌放射線治療後 — 咽頭期
(5) アカラシア — 食道期

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

13. 早期胃癌の消化管造影所見として正しいものはどれか。

- (1) ひだの中断
(2) 弯入
(3) ひだの癒合
(4) 縦走潰瘍
(5) 蚕食像

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

14. 消化管造影検査で正しいものはどれか。

- (a) 被写体と受信機との距離が短くなると、透視画像上で被写体がより小さく見える
(b) 被写体と受信機の距離を長くすることで、透視画像上で被写体の辺縁がより明瞭に見える
(c) アンダーチューブ装置では被写体と受信機の距離を長くすることで、被曝を低減できる
(d) 透視室で着用する鉛プロテクターは主に直接線を遮断する
(e) フラットパネルディテクターを用いた消化管造影検査で、透視による被曝が撮像による被曝を超えることは稀である

15. クロウン病の消化管造影検査所見として正しいものはどれか。

- (1) apple core sign
(2) thumb printing sign
(3) skip lesion
(4) cobble stone appearance
(5) lead pipe appearance

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

16. 下記疾患の治療において化学放射線治療が有効なものはどれか。

- (1) 肝細胞癌
(2) 膵臓癌
(3) 食道癌

- (4) 胃癌
(5) 結腸癌

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

17. 消化器癌に対する放射線治療について誤っているものはどれか。

- (1) 肝細胞癌で門脈塞栓が存在する場合は放射線治療の適応はない
(2) 結腸癌に対する術後放射線治療の有効性が報告されている
(3) 進行食道癌に対する化学放射線治療の成績は外科治療に匹敵する
(4) 食道癌に対する放射線治療の有害事象に心外膜炎がある
(5) 膵癌に対する疼痛緩和照射は有効である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

18. 次の文章のうち誤っているものはどれか

- (1) 腸重責の代表的な画像所見として、target sign や pseudokidney sign がある
(2) 中腸回転異常では 270° 回転型が最も多い
(3) 腸重責は学童期に多い
(4) 小児の腸重責が生じやすい部位は回盲部である
(5) Hirschsprung 病は壁内神経節細胞の欠如が原因で腹部膨満や腸閉塞をきたす

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

19. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- (1) 大腿ヘルニアは外ヘルニアに分類される
(2) 急性虫垂炎の病気とし、カタル期、蜂窩織期、壊疽期がある
(3) 内鼠径ヘルニアは小児に多い
(4) Meckel 憩室には、Ga（ガリウム）ーシンチグラフィが行われる
(5) 非閉塞性腸管虚血（NOMI）の予後は良好である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

20. 食道表在癌の治療法の選択で正しい組合せはどれか。

- (1) m1 癌は EMR（内視鏡的粘膜切除術）の適応である
(2) m2 癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる
(3) sm 癌は早期癌のためリンパ節郭清は不要である
(4) sm2・sm3 癌ではリンパ節転移の頻度が高いため、根治手術の適応となる

(a) 1,2 (b) 1,3 (c) 1,4 (d) 2,3 (e) 3,4

21. 食道癌に最も合併が多いのはどれか。

- (a) 肺癌
(b) 肝臓癌
(c) 胃癌
(d) 大腸癌
(e) 膀胱癌

22. 疾患と術後早期に起こりうる合併症の組み合わせとして適切なものはどれか。

- (1) 食道癌

— 骨盤内膿瘍
- (2) 食道アカラシア

— 嗄声
- (3) 胃癌

— 腓液ろう
- (4) 直腸癌

— 勃起障害
- (5) 上行結腸癌

— 排尿障害

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

23. 胃癌の術後合併症について正しいものはどれか。

- (a) 術後に吻合不全を生じた場合、その後に吻合部狭窄となることがある

(b) 噴門側胃切除後の小腸間置再建術は摂取した食物の貯留能保持が主な目的である

(c) 逆流性食道炎に対しては、逆流防止のための再手術が第一選択である

(d) 早期ダンピングの症状は血糖値の急速な変動に起因するものが多い

(e) 胃切除後には鉄欠乏性貧血は稀である

24. 胃癌に対する幽門側胃切除で通常切離される血管はどれか。

- (1) 右胃動脈

(2) 右胃大網動脈

(3) 総肝動脈

(4) 胃十二指腸動脈

(5) 左胃大網動脈

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

25. 大腸癌について正しい組合せはどれか。

- (1) 早期下部直腸癌では、経肛門的、経括約筋的、経仙骨的腫瘍摘除術も適応となる

(2) 直腸癌術後の局所再発は稀である

(3) 進行直腸癌に対して放射線治療が行われることはない

(4) 肝転移、肺転移の頻度は結腸癌と直腸癌との間に差が認められる

(5) 結腸癌、直腸癌ともに CEA は有用な腫瘍マーカーである

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

26. 結腸癌について正しいものはどれか。

- (1) 潰瘍浸潤型が多い

(2) 左側結腸癌はイレウスをきたしやすい

(3) S 状結腸癌の頻度がもっとも多い

(4) 血行性転移臓器は肝臓がもっとも多い

(5) 結腸癌の再発形式は、肝転移より腹膜播種の方が多い

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

27. 45 歳、男性。直腸後壁、歯状線口側 3cm に下縁を有する病変（20×20mm）を認め、経肛門的に局所切除を施行した。

今後の治療として適切なものを選べ。

- (1) m 癌で断端陰性だったので、経過観察を行う

(2) sm 癌（高度浸潤 sm3）であったので、閉鎖リンパ節郭清を伴う直腸切除術を行う

(3) sm 癌（中等度以上の浸潤 sm2~3）で断端陽性であったので、局所的に再切除を行う

(4) sm 癌（中途度浸潤 sm2）であったので、自律神経温存直腸切除術を行う

(5) sm 癌（軽微な浸潤 sm1）であったので、経過観察を行う

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

28. 腸管感染症について、正しいものはどれか

- (1) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある

(2) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である

(3) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である

(4) 回盲部の腸結核は稀である

(5) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

29. A 型胃炎について、正しいものはどれか

- (1) 大球性貧血を合併することがある

(2) カルチノイドが多発することがある

(3) H.pylori 感染がある場合は発症しない

(4) 主細胞が主に障害されて起こる

(5) 病変は前庭部（antrum）中心の分布となる

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

30. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について、正しいものはどれか

- (1) Duke's 分類は大腸癌の肉眼形態の分類である

(2) 家族性大腸腺腫症は K-ras 遺伝子の germline mutation が原因とされる

(3) クローン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である

(4) 潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い

(5) Goligher 分類は痔核の病期分類である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

31. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものはどれか

- (1) MALT リンパ腫は H.pylori 感染と関係がある

(2) Gastrointestinal stromal tumor（GIST）の約 90%は免疫染色で c-KIT 陽性である

(3) セリアック病は Tropheryma whipplei の感染が原因とされる

(4) 胃生検材で adenoma は Group4 に分類される

(5) Borrmann 分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

32. 胃癌に関連して正しい組み合わせはどれか

- (1) 進行胃癌の5年生存率は70%程度である
- (2) 大きさ10mmのⅡc 分化型腺癌 深達度SM1癌はESDの適応拡大病変である
- (3) 大きさ50mmのⅡa 分化型腺癌 粘膜内癌はESDの適応拡大病変である
- (4) 大きさ5mmのⅡc 印鑑細胞癌 粘膜内癌はESDの適応拡大病変である
- (5) 胃癌の卵巣転移をVirchow転移という

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

33. 胃疾患に関する次の記述のうち正しい組み合わせはどれか

- (1) H.pylori感染は胃癌発がんのリスクである
- (2) 手術不能な進行胃癌の治療としてメシル酸イマチニブが有効である
- (3) 胃びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）の治療として、H.pyloriの除菌治療が有効である
- (4) A型胃炎に伴うカルチノイドは転移率が高い
- (5) 胃に発生する悪性リンパ腫の中で、頻度が高い組織型はMALTリンパ腫とびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）である

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

34. 蛋白漏出性胃腸症について正しいのはどれか

- (a) 血清中のIgGは増加する
- (b) ¹³¹I-アルブミンシンチグラフィは診断に有用である
- (c) α₁-アンチトリプシンクリアランスは低下する
- (d) 血清コレステロール値は高値になる
- (e) 主症状は便秘である

35. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいのはどれか

- (1) 食道異物は第2狭窄部に最も多くみられる
- (2) 胸部中部食道（Mt）は漿膜に覆われている
- (3) 食道アカラシアの分類としてLos Angeles分類がある
- (4) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
- (5) RCサイン陽性を伴う食道静脈瘤は治療適応である

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

36. 大腸癌について正しいのはどれか。

- (a) 早期診断にはCEA測定が有用である
- (b) 低分化型腺癌が多い
- (c) 潰瘍浸潤型が多い
- (d) 遠隔臓器への転移では肝転移が多い
- (e) 早期癌ではリンパ節転移はない

37. Crohn病について正しいのはどれか

- (1) 発病は10、20歳代に多い
- (2) 病変は直腸から連続性である
- (3) 生検では乾酪性肉芽腫が見られる
- (4) 病変は腸管全層に及ぶことが多い
- (5) 肛門部病変を伴うことが多い

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

38. 正しい組み合わせはどれか

- | | |
|----------------------|---------------|
| (1) Peutz-Jeghers症候群 | — 過誤腫性ポリポーシス |
| (2) クローン病 | — 全周性潰瘍 |
| (3) 潰瘍性大腸炎 | — skip lesion |
| (4) ベーチェット病 | — 回盲部潰瘍 |
| (5) 腸結核 | — 盲部潰瘍 |

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

39. 次のうちで正しい組み合わせはどれか

- (1) H.pylori陽性の慢性萎縮性胃炎患者は胃癌発生の高危険群である
- (2) Strickland-Mackay分類のB型胃炎はH.pylori感染と関連が深い
- (3) 機能性ディスペプシアではしばしば胃癌を合併する
- (4) 胃アニサキス症に対しては化学療法が有効である
- (5) ガストリン、ヒスタミン、アセチルコリンは酸分泌を抑制する

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

40. 次のうちで正しい組み合わせはどれか

- (1) 肥厚性幽門狭窄症はX線像で”double bubble sign”を呈する
- (2) 10mm以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮し内視鏡的切除を行う
- (3) 幼児期に自然感染したH.pyloriは、ほとんど自然排除される
- (4) 胃MALTリンパ腫はH.pylori除菌療法の保険適応である
- (5) びらんとは、組織欠損が粘膜上皮にとどまる（粘膜筋板を越えない）状態をいう

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5